

1型糖尿病研究基金

第20回研究費助成課題募集のお知らせ

1型糖尿病の根絶に向けて

患者・家族の目線での画期的かつ先進的な

「治療」、「根治」、「予防」につながる研究を応援します

趣 旨

1 型糖尿病は、突然膵臓内の膵β細胞が破壊され、インスリンを作る能力が失われる病気です。現在の治療法は絶対的に不足しているインスリンの「補充」を一生継続する対処療法のみです。患者は毎回の食事に応じたインスリンを、注射(1日4回程度)やポンプによって補充を行います。

日本における1型糖尿病患者数は10万～14万人と推定されていますが、糖尿病全体の数%以下で14歳以下患者の年間の発症率は人口10万人当たり1.5～2.5人と希少性の高い疾患です。このような希少性により1型糖尿病の社会的認知度は低く、また患者はつらい「低血糖」と合併症につながる「高血糖」との狭間で一生過ごしていかななくてはなりません。治療の継続は患者本人の苦痛はもとより、家族にとっての精神的、経済的負担も多大なものとなっています。

このような状況において、私たちは1型糖尿病の「根治」を願い、2005年に「1型糖尿病研究基金」を設立し、現在では、「根治」のみならず、「治療」、「予防」まで含めて、1型糖尿病根絶に向けた研究に取り組んでいる方々に対し研究費の助成を行っています。

患者・家族をはじめとする多くの寄付者の方々に支えられ、これまで175件、9億4,332万5千円の研究費支援ができました。

20回目となる今回の募集では、第2回山田和彦賞を贈った坂口志文先生のノーベル生理学・医学賞受賞時の想いやフコク生命THE MUTUAL基金(創業100周年に創設)助成も受け、じっくりと研究に取り組めるよう最長10年間の助成や基礎研究も対象にしています。

日本学術振興会による科学研究費助成事業やAMEDによる研究助成事業の支援からは外れても、1型糖尿病患者・家族の目線で強い覚悟を持った独創的なチャレンジに期待しております。

今後とも1型糖尿病の根絶を目指して研究助成を継続して参りますので、多くの研究者、研究グループの皆さまの応募をお待ちしております。

2026年1月

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

1型糖尿病研究基金 第20回研究費助成課題募集要項

1. 助成対象研究課題

1型糖尿病について以下のような「治療」、「根治」、「予防」につながる、患者・家族の目線での画期的かつ先進的な研究です。

「治療」・・・現在の治療法の改善により、体への負担が軽くなり生活の質が向上すること。

「根治」・・・インスリン補充から解放され、病気になる前のもとの体に戻ることに。

「予防」・・・これから新しく発症する患者を無くすこと。

2. 助成対象者(研究代表者)

助成対象者は、以下の要件を満たす方とします。

- ① 1型糖尿病の研究に取り組んでいる研究者又は団体であること。
- ② 日本国内に研究拠点があること。
- ③ 原則として、3年以上の研究実績があること。

3. 助成金額、助成期間及びその用途等

- ・ 助成総額は500万円を予定しています。下記の3タイプの中から選択してください。
 - タイプA: 助成金額は上限100万円で、助成期間は1年間。
 - タイプB: 助成金額は上限300万円で、助成期間は1年間。
 - タイプC: 助成金額は上限100万円/年で、助成期間は最長10年間
(各年の更新手続が必要、長期間の助成は米ドルでの助成となる場合があります)
- ・ 助成金の用途は特に限定しませんが、当該研究を実施する研究機関における事務部門等の間接経費には使用できません。
- ・ 研究者又は団体の自己負担率は定めません。
- ・ 助成金について、研究者の個人口座への振り込みはいたしません。

4. 応募について

(1) 応募期間

2026年1月5日(月曜日)～2026年3月9日(月曜日)

(2) 応募用紙の入手方法

日本IDDMネットワークのウェブサイトからダウンロードしてください。

https://japan-iddm.net/news/research_grant/35292/

(3) 応募用紙の送付

所定の申請書に必要事項を記入のうえ、2025年3月9日(月曜)までに、下記の日本IDDMネットワーク事務局宛(kenkyu@japan-iddm.net)へ、電子メール(暗号化された添付ファイルメール)にて、お送りください。

※ 事務局へのご持参、郵送、ファックスでのご応募は受け付けませんのでご了承ください。

5. 助成事業期間

原則として2026年5月1日から3に記載のタイプに応じて1年から最長10年の間に実施される研究を対象とします。

6. 助成事業の研究成果の公開、取扱い等

助成期間の終了後、毎年研究成果等を報告いただき、当法人のウェブサイト、動画、1型糖尿病IDDMレポート等で公表いたします。

患者・家族による研究室訪問等、研究内容を患者・家族に直接伝えてもらう場を設定する際にご協力いただきます。

若手研究者等が安心して1型糖尿病根絶に向けた研究に取り組める環境を創造するために成果に応じて資金のリターンをお願いすることがあります。例えば、研究成果に関する知的財産権の取扱い等について別途協議させていただきます。

7. 選考について

(1) 選考方法

提出された書類にもとづき、有識者や学識経験者の助言を得て、当法人の理事で選考します。
選考の結果、期間や金額の変更を求める場合もあります。

(2) 選考基準

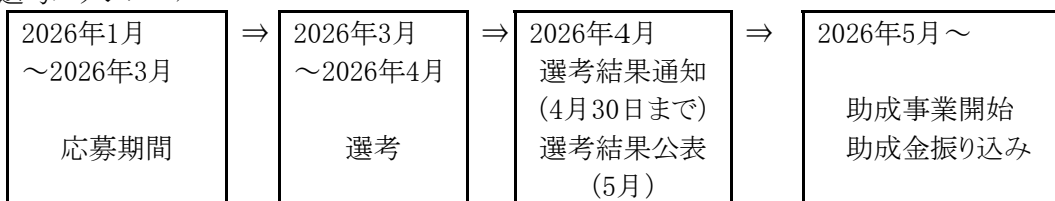
以下の基準にもとづいて選考を行います。

- ・ 1型糖尿病の具体的な治療改善、根治、予防に向けた道筋が明確にされているかどうか。
- ・ 研究内容やその手法が、研究の目標達成にむけて相応しいかどうか。
- ・ 実施体制や実施スケジュールが十分に計画され、研究の実現性が期待できるかどうか。
- ・ 関係機関の協力や当事者、専門家の参加により、高い成果が期待できるかどうか。
- ・ 現在、抱えている研究課題が明確かどうか。
- ・ これまでの研究内容が優れているかどうか。
- ・ 患者やその家族の期待にそった持続的な研究が今後も期待できるかどうか。

(3) 選考結果の通知

2026年4月30日(木曜日)までに文書などで通知します。

(4) 選考スケジュール



8. 助成課題への採択後のお取扱い

研究成果の発表は、メディアを通じた公表、学会発表、学術雑誌への投稿等で積極的に行っていた
だくとともに、その場合は当研究基金による支援を受けたものであることを表示していただきます。

9. 応募書類の問い合わせ先

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

〒840-0854 佐賀県佐賀市八戸二丁目1番27-2号

TEL : 0952-20-2062 FAX : 050-3385-8940 E-mail : kenkyu@japan-iddm.net

※ 個人情報の取り扱いについて

ご提出いただいた書類およびご記入いただいた個人情報は、本基金助成の選考、運営ならびに情報提供の目的で当法人および選考に携わる有識者や学識経験者が利用し、適切に管理いたします。

*** 日本IDDMネットワークとは ****

日本IDDMネットワークは1型糖尿病の患者・家族の支援団体です。1995年の阪神・淡路大震災での患者・家族の連携・協力の経験などが契機となり、全国の地域患者・家族会の連携とこの疾患を取り巻く社会的課題の解決のために設立しました。

現在の主な活動として、患者・家族への正しい情報提供(“希望のバッグ”の送付、セミナーの開催など)、患者・家族の療養環境や医療・福祉的な支援制度の改善のための政策要望、成人1型糖尿病患者への医療費助成、高齢患者の支援、療養相談、社会啓発などに取り組んでいます。

そして最終ゴールである1型糖尿病の根絶を目指し、その研究支援に取り組んでいます。